



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第31回例会(3月30日)
平成30年4月6日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内

例会場 同上 TEL 019(651)1111(代)

例会日 毎週金曜日12時30分～

http://www.morioka-rc.jp/

会長 飯塚 肇

幹事 星 克彦

会報 伴 亨

クラブ事務局 TEL 019(653)5682

FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. "ロータリー: 変化をもたらす"… イアン H.S. ライスリー
盛岡RC会長テーマ —もう一度、奉仕—…飯塚 肇



会員卓話

『日本刀の話』

(株)IBC 岩手放送常勤監査役

阿部 広 君

○はじめに

今日のテーマを日本刀の話にしようと思ったのは、今から2年程前にその席で荻野先生から昭和10年代の肴町界隈の住宅地図を見せてもらった時に、その地図に私の祖父がやっていた刀屋が「阿部刀剣研師」との表記で載っており、懐かしく祖父の仕事を思い起こしたからです。現在の岩手銀行赤レンガ館の向かいの場所です。刀の研ぎだけでなく鑑定から売買まで手広くやっていました。私自身は刀に深く関わった訳でないので今日の話は聞きかじりのような話になりますがご容赦を。

終戦直後、GHQが日本全国で「刀狩り」と称して日本刀の接収をしました。その数はあまりにも多すぎて定かではありません。海洋投棄やガソリンをかけて大量焼却したのもあったそうです。戦利品として米英豪に持ち帰ったものも多く、アメリカに渡ったものだけで200万本とも言われています。

祖父も当時は刀の鑑定、値付けで大変忙しかったそうです。

その後、盛岡の店は長男に任せて東京に出て、文京区本郷、東大の隣接地に店を構えました。歩道から研ぎの作業が見えるような店構えで併せて鞘師の職人も一緒に作業をしていました。ここでも売買もしていたので、かなり値の張る刀を持って全国各地を飛び歩いていた。

私が一番刀に接したのは大学の時でご飯を食べ

に頻繁に通って、ついでに何十本もある刀の話を聞いたり手に取ったりしました。また、金細工を施した鍔なども沢山あって、それを見るのも楽しみでした。祖父はなかなか粋な人でよく浅草や上野の寄席に連れて来てくれて、行き帰りに「名店のうなぎ」や「駒形どぜう」などご馳走してくれました。

会社に入ってから東京支社に勤務した頃、また接することになりましたが子供が小さかったのであまり抜き身を見せることはしませんでした。

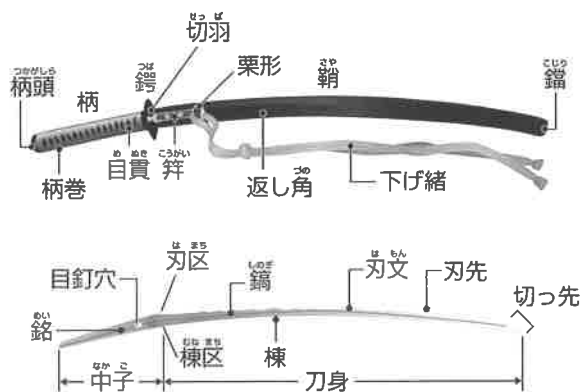
○日本刀とは

刀剣類は古墳時代以前から製作されていましたが、一般に日本刀と呼ばれるものは平安時代末期に出現して、それ以降主流になった反りのある片刃の刀剣を指します。寸法により太刀、刀、脇差、短刀などに分類されます。

太刀は長さ60cmから90cmくらい。刃を下にして腰に下げるもので元来、馬上で振り上げる使い方だったようです。室町時代後期から刃を~~平~~^上にして袴の帯に指す刀が主流になりました。長さは60cmから70cm程度。さらに脇差、短刀があります。刀の重さは刀身で800~1,200グラムくらいです。

武士の二本差しは刀と脇差ですから相当重かったと思います。

ゴルフクラブのアイアンを何本か持って歩いている重さでしょうか。



○刀剣の主な産地

古刀期（安土桃山時代まで）に著名な刀工を輩出した地域として

「五箇伝」～大和（奈良県）、山城（京都府）、備前（岡山県）、相州（神奈川県）、美濃（岐阜県）が挙げられます。相州というのは相模国で主に鎌倉です。こういう地域の各流派が代々その技術を伝えてきた訳です。

その後、新刀（江戸時代前半まで）、新々刀（江戸後期）は城下町中心に各藩お抱えの刀工など全国各地に展開しました。

源流は一関の舞草刀と言われており、東稲山の麓に往時を偲ぶ舞草神社があります。

○刀の製法

詳しい説明は難しいので簡単に言いますと原料は砂鉄です。

砂鉄を木炭で熱して「玉鋼」という鉄を取り出します。これを何度も熱しては折り曲げ、鍛錬して硬さや粘りの違う鉄（心鉄）を間に入れて刀の原型を作り、焼き入れをして研ぐ前の刀にします。その後、研師が何種類もの砥石を使って研ぎ、刃文の浮き出た綺麗な刀になる訳です。

一関市東山町に猊鼻溪がありますが、あの川は砂鉄川といって砂鉄が採れることで有名でした。日本は鉄鉱石があまり採れなくても火山が多いため良質の砂鉄が採れ、さらに木炭も多く、昔の製鉄法「たたら製鉄」が行われていました。舞草刀が近くで作られていたのも納得できます。

○著名な刀

千数百年の歴史の中で作られた日本刀は各地の流派で脈々と受け継がれてきたもので著名な刀工も多く存在しますが、実際製作されたものがどれ

だけ現存しているか全く不明です。現在、国宝に指定されている刀は111本ありますが個人所有もあり、目にすることができるのは極少数です。111本のうち47本が備前刀と言われる岡山で製作されたものです。

著名な日本刀としては「天下五剣」と称される5つの名刀、国宝「童子切安綱」、「三日月宗近」、「大典太光世」、重要文化財「数珠丸恒次」、御物「鬼丸国綱」があります。天下五剣と名付けたのがいつ、誰かはわかりません。

「童子切」は源頼光が酒呑童子を斬った刀と言われています。「三日月宗近」はこの中でも最も美しいとされる刀で豊臣秀吉の正室高台院（ねね）が所有し徳川家に渡ったもので三日月模様の刃文があることから名づけられました。

この童子切と三日月宗近は東京の国立博物館が所蔵しています。

「大典太」は足利将軍家の家宝でのちに秀吉から加賀の前田利家に贈られたもの。試し斬りで二人分の胴体を一気に斬ったという謂れがあります。重要文化財「数珠丸」は日蓮上人ゆかりの刀、数珠を巻きつけ魔除けの守り刀とされていたとのこと。

御物「鬼丸国綱」は北条時政を呪っていた鬼を斬ったという謂れがあります。御物というのは皇室の所有ということです。

他に名が知られているのが「正宗」、妖刀「村正」、「大包平」など。

「正宗」は鎌倉の刀工。その作風は後世に多大な影響を与え日本刀の代名詞になっているほどです。お酒の名前にも使われていて180位の銘柄があるようです。「村正」は伊勢国桑名の刀工。徳川家康に忌み嫌われ妖刀と言われたのは有名な話ですが、家康の祖父と父が家臣の謀反によって殺害された時、妻が殺害された時も使われた刀はいずれも村正、嫡男が死罪になった時に切腹、介錯に使った刀も村正、自身が関ヶ原の戦いで怪我をしたのも村正だったということから徳川家では廃棄され、銘も潰されたということです。ただ尾張徳川家では家康の形見として代々伝え、今は徳川美術館に収蔵されているようです。

村正は実用性が高く切れ味が鋭かった証しと言えます。

「大包平」は岡山藩の池田家に代々伝わってきた国宝の名刀で現存する刀の最高傑作と言われ、

昭和42年に文部省が6500万円で買い上げています。

さらに名が知られているという意味では、新撰組・近藤勇の愛刀「虎徹」。「今宵の虎徹は血に飢えている」という台詞が有名です。

沖田総司の刀は司馬遼太郎の新撰組血風録には「菊一文字則宗」と書かれていますが大名クラスでなければ持てないくらい高価なものでおそらく偽物だろうと言われていました。

番外で国定忠治の刀、新国劇の芝居で「赤城の山も今宵が限り…加賀の住人、小松五郎義兼が鍛えし業物、俺にゃ生涯手前えという強い味方があったんだ」という台詞に出てきますが、どの程度の刀かはよくわかりません。

明治時代以降に作られた刀は現代刀といって、現在でも全国に刀鍛冶は300人程いるそうです。人数的には岡山県が一番多く17人、因みに岩手県には3人おります。

○刀の値段

刀の価格はピンキリで30万円位から、銀座の刀剣商あたりで展示しているので高いのは6,000万円位、表に出てないのはもっと高いと思います。

国宝とか重要刀剣で億を超えるのは普通です。昨年、上越市の博物館が民間人所有の上杉謙信の愛刀・国宝「太刀無銘一文字・山鳥毛（さんちょうもう）」（刃文が山鳥の羽のような模様のためこう呼ばれている）を購入するため3億3千万円を予算化しましたが売主との交渉で価格が折り合わず断念しました。専門家の鑑定で3億2千万円とされていたようです。また備前の刀工の作なので地元岡山では他県に流出させたくないとの意向もあるようです。

今年1月に奈良の春日大社が発表しましたが、昭和14年に天井裏から見つかった刀のうち1本が平安時代末期のもので先程の国宝「童子切」と同じ刀工の作である可能性が高いと言っております。発見された時は錆びていてわからなかったそうですが、式年造替の一環で今、研磨して鑑定した結果、判明したとのこと。本当だとすると正に国宝級の発見ということになります。

○時ならぬ日本刀ブーム

ここ数年前から日本刀ブームになっています。日本刀はある時期から美術刀剣と言われるよう

に美術品としての価値が高くなり、それにつれて金持ちの道楽とか一部のおじさんたちの趣味のように思われていましたが、今は若い女性に大人気になっています。

きっかけは「刀剣乱舞」というゲームが火付け役になりました。刀を擬人化したイケメンのキャラクター「刀剣男子」を登場させた結果、これで遊ぶ女子が爆発的に増えて、いわば「刀剣女子」と言われるようになった訳です。ゲームだけでなく実際の刀を見たいということで全国の博物館、展示会が若い女性で大賑わいといった状況です。

昨年秋、東京国立博物館で先程の「天下五剣」の一つ「三日月宗近」の展示があった時は連日長蛇の列でほとんどか若い女性。

今年1月に刀剣博物館が両国国技館の隣にある旧安田庭園の一角に移転新築しましたが、オープン直後は圧倒的に女性が多い状況でした。

○刀の手入れ

刀の鞘、柄、鐔といった外装部分の総称を「拵え」と言います。

今は日常的には拵えの状態では保管しません。鞘は通常漆塗りですが、保管用として刀一本ごとに製作した「白鞘」を使います。鞘の中で刀が全く木に触れないように刀の形に沿って作ります。材料は「朴の木」を使います。朴の木は固すぎず加工しやすいのと、あくがなく磁気を遮断する特性があるため、刀が錆びにくいという利点があります。

型取りをして両側から接着しますが、接着剤としてご飯粒を練ったものを使います。化学物質を使った人工的な接着剤と違って刀に悪い影響がなく鞘の中を掃除したり、修理のため剥がすことが出来ます。

高倉健のヤクザ映画で白鞘のまま使っているシーンを見ますが実際は使えないと思います。手がすべったり鞘が割れたりすると思います。

高倉健は刀の収集家としても有名でした。没後、養女が健さんと縁のあった刀鍛冶の居る長野県坂城町の鉄の展示館に刀8振りをお贈りしています。

刀身の手入れでよくポンポンと叩いているのを目にしますが、打ち粉は砥石の粉、これで古い油を拭き取ります。

錆び止めとして丁子という植物から精製した油「丁子油」を使います。

日本刀は戦うための武器だったのが、美術品としての価値を見出され現在に至っています。1本の刀に大勢の職人が関わって作っております。

ざっと挙げると刀鍛冶、研師、鞘師、柄巻師、白銀師（鍔などの製作）、金工師（彫金）、塗師（漆などの装飾）、蒔絵師など。

また、刀の部位についている名称がとて多く、こういったものは世界に類を見ません。日本が世界に誇る美術工芸品、芸術文化と言えらと思ひます。

○日本刀に由来する言葉

「刀は武士の魂」と言われるくらい日本人は日

本刀に対する畏敬の念を持っており、精神文化の象徴としての位置づけでもあります。

そのためか刀に由来する言葉はかなり多く、現在でも相当使われています。

- ・懐刀 ・太刀打ち ・単刀直入 ・伝家の宝刀
 - ・一刀両断 ・快刀乱麻を断つ ・付け焼刃
 - ・鞘当て ・押っ取り刀 ・相槌を打つ
 - ・身から出た錆 ・鎬を削る ・鍔ぜり合い
 - ・焼きを入れる ・反りが合わない
 - ・元の鞘に収まる ・切羽詰まる
 - ・目抜き通り ・抜き打ち ・折り紙つき
- 以上、日本刀の話あれこれでした。

例 会 報 告

第 31 回例会
平成 30 年 3 月 30 日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司 会 飯塚 肇会長
- ・ロータリーソング（手に手つないで）
- ・ビジター 南部利文さん（会友）
- ・会長報告 飯塚 肇会長
- ・功労者表彰 熊谷隆司会員（米山功労者）
- ・誕生祝 土屋克之君
- ・結婚祝 工藤博司君
- ・幹事報告 星 克彦幹事

終了後臨時理事会

【ニコニコBOX】

- ◆西島光茂君…梅が咲きました。梅は咲いたし 桜はまだかいな
- ◆川村勝浩君…3月14日からインドのデリーに出張してきました。人口13億人のエネルギーをじかに感じて、とても有意義でした。日系企業も数多く進出しており、これから益々発展が期待されます。しばらく欠席した言い訳としてニコニコします。
- ◆砂子田智君…先週3/20～25日に仙山市東北電力グリーンプラザ

で「岩手三陸 春のマルシェ」と題し、岩手三陸の復興支援とラグビーワールドカップ釜石開催の応援イベントを開催しました。おかげさまで、9,300名の方にご来場いただき、物産の販売も280万円となりました。盛況に開催できましたのでニコニコします。

●メイクアップ

地区＝千葉・星・掛上・勝部・川村(登)・丸山・長澤君。盛岡北R.C.＝伴・熊谷(祐)・佐藤(仁)君。盛岡西R.C.＝佐藤(義)君。クラブ委員会＝畠山・川村(勝)・駒木・長野・勝君。

※訂正とお詫び…第30回例会号ニコニコBOX欄の荒川鉄平様の文章で誤字がありました。「どちらも金、銀を取って角(各)が上がります。」(カッコ内の文字が誤り) → 「どちらも金、銀を取って角(格)が上がります。」(正)。訂正してお詫び申し上げます。

出席報告

会員数/76名

出席数/44名

出席率/63.38%

前々回/75%



プログラムのお知らせ

- ・4月 6日(金) 会員卓話 岩野法光会員「私の『三丁目の夕日』時代」
- 13日(金) ゲスト卓話 フードバンク岩手
- 20日(金) 新入会員卓話 片桐宗雄会員
- 26日(休) 観桜会（27日例会変更）
- ・5月 4日(金) 祝日休会
- 11日(金) 青少年育成団体支援金贈呈式 ポランの広場・いわて子育てネット
- 18日(金) 会員卓話 飯塚 肇 会長
- 25日(金) 会員卓話 齊藤和好 会員

●本号編集担当 / 金子 眞也